



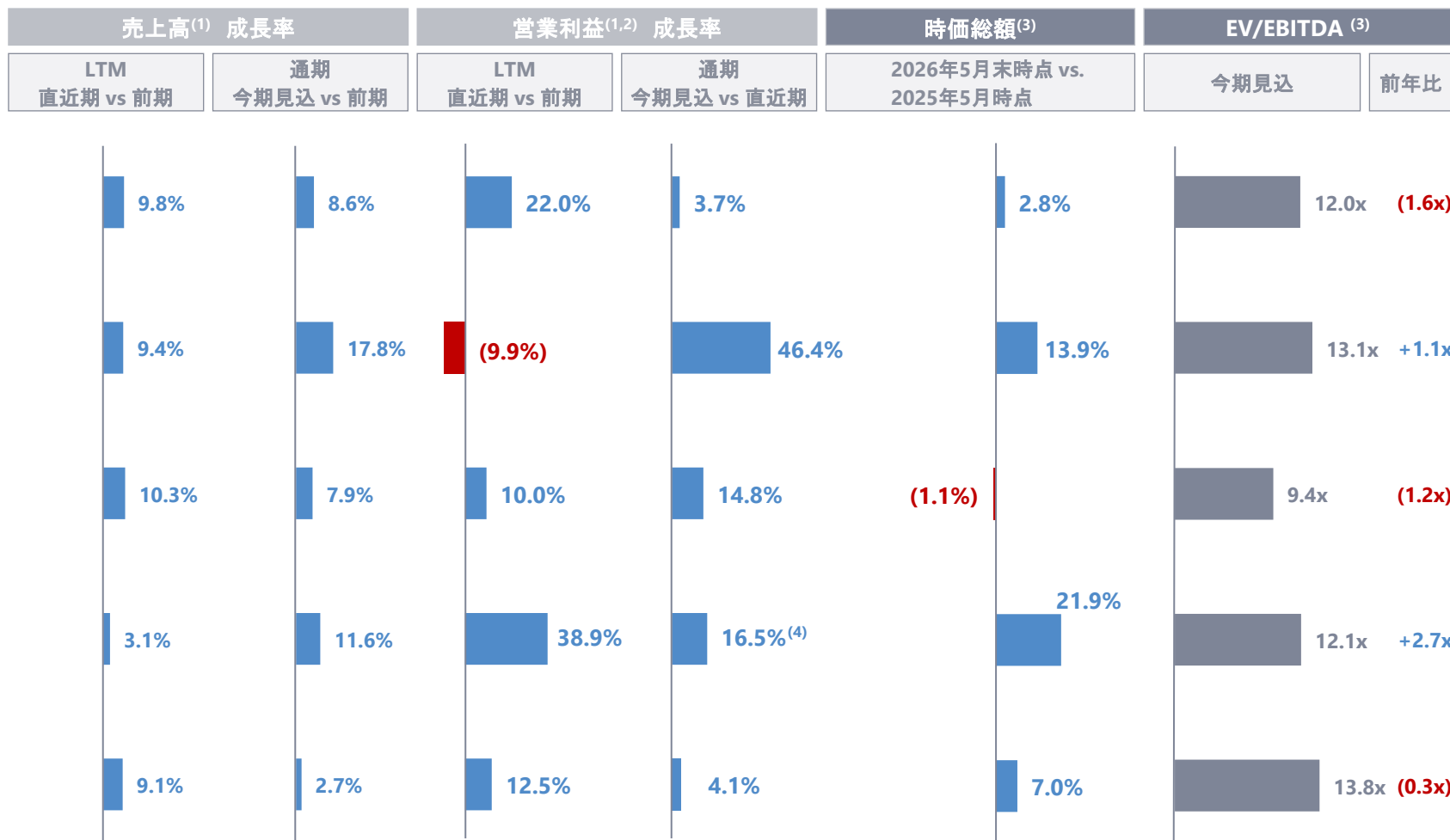
Houlihan
Lokey

外食セクターアップデート

2025年度決算概要

2025年度 外食業界の動向サマリー (1/2)

外食各セクターは総じて増収基調にある一方、利益成長や市場評価には業態間で濃淡がみられる。焼肉は利益成長・株価上昇ともに堅調、持ち帰り・回転寿司は足元利益が減少するも今期は大幅回復が見込まれる

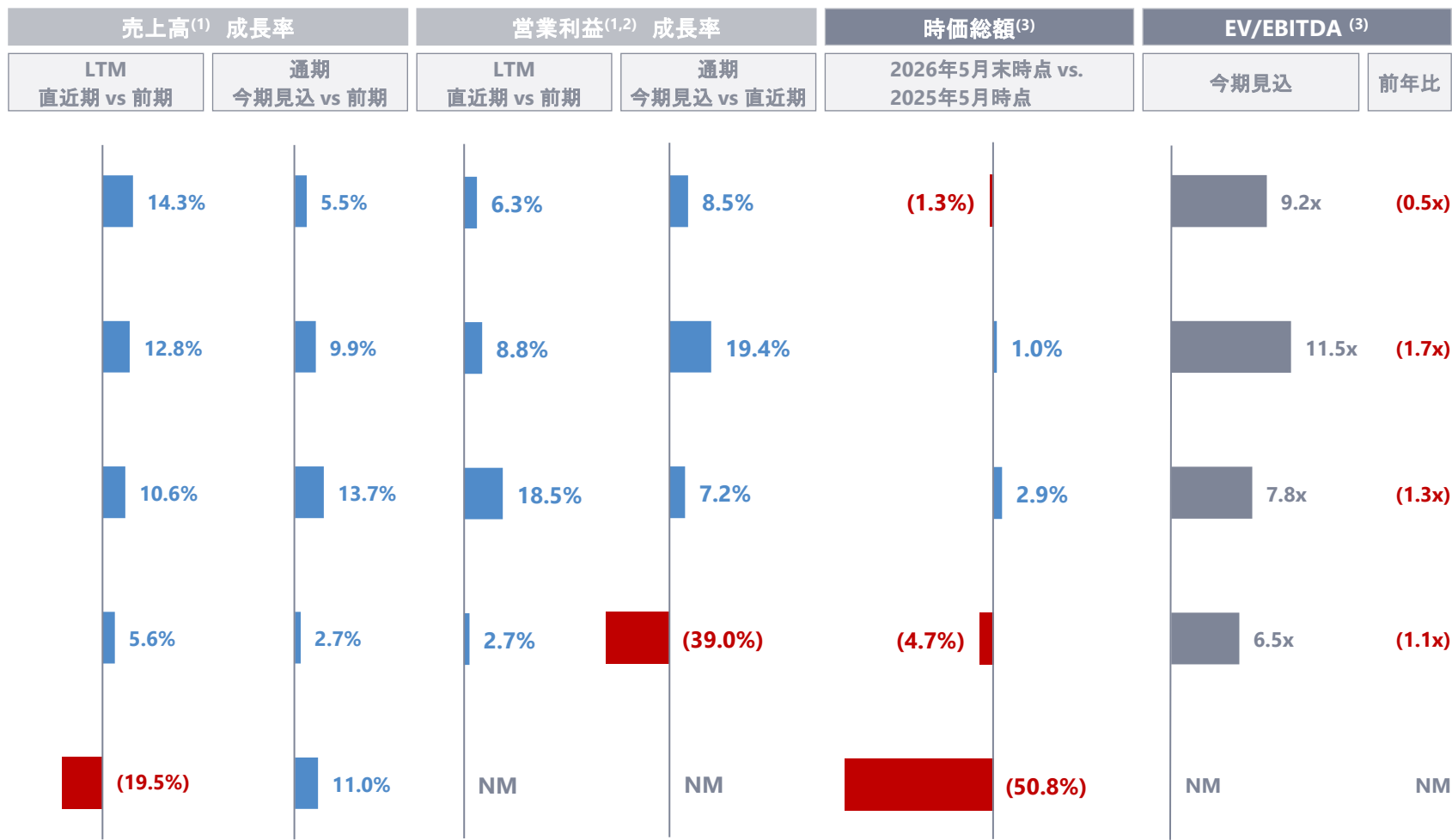


Source: Capital IQ、SPEEDA、各社公表資料

- (1) 各業種における対象企業群(詳細は後頁参照)の売上高、営業利益の変化率の単純平均を記載(前期値がマイナス或いは予想値が公表されていない企業は計算から除外)
- (2) IFRS適用企業については各社公表資料の営業利益の定義に基づき実績値および予想値を参照
- (3) 各業態ごとの2026年5月29日時点の株価に基づく時価総額成長率およびマルチプルの値および2025年5月29日時点比での増減を記載
(EV/EBITDAマルチプルが0.0x未満、もしくは30.0xより大きい場合がある企業は平均より除外)
- (4) 株式会社アトムの今期見込営業利益成長率は平均の対象から除外

2025年度 外食業界の動向サマリー (2/2)

カフェ・中華/ラーメン・居酒屋は増収増益を維持し、特に中華/ラーメンは今期も高い利益成長を見込む。一方、テイクアウト・中食は今期利益が大きく減少し、フードデリバリーは売上・株価ともに大きく下落



Source: Capital IQ, SPEEDA、各社公表資料

(1) 各業種における対象企業群(詳細は後頁参照)の売上高、営業利益の変化率の単純平均を記載(前期値がマイナス或いは予想値が公表されていない企業は計算から除外)

(2) IFRS適用企業については各社公表資料の営業利益の定義に基づき実績値および予想値を参照

(3) 各業態ごとの2026年5月29日時点の株価に基づく時価総額成長率およびマルチプルの値および2025年5月29日時点比での増減を記載
(EV/EBITDAマルチプルが0.0x未満、もしくは30.0xより大きい場合がある企業は平均より除外)

外食セクター | 各社の業績 (1/2)

ファストフードや大手寿司チェーンなど、価格転嫁力と店舗回転率を有する企業は増収増益基調を維持。一方、小規模チェーンや低採算店舗を抱える企業では、増収下でも利益成長が限定的

各社の時価総額・売上高・営業利益

(億円)

	社名	直近 決算期	時価総額		売上高 ⁽²⁾			営業利益 ⁽²⁾			営業利益率	
			2026/5/29	成長率 ⁽¹⁾	前年	直近	前年	前年	直近	前年	直近	
							vs直近			vs直近		
ファストフード	ゼンショーHD	26/3	12,598	2.3%	11,367	12,641	11.2%	751	814	8.4%	6.6%	6.4%
	日本マクドナルドHD	26/12 (1Q)	10,357	29.0%	4,053	4,194	3.5%	487	580	19.0%	12.0%	13.8%
	吉野家HD	26/2	2,063	(0.9%)	2,050	2,257	10.1%	73	81	10.7%	3.6%	3.6%
	壱番屋	26/2	1,413	(2.9%)	610	655	7.4%	49	47	(4.3%)	8.1%	7.2%
	モスフードサービス	26/3	1,105	(2.4%)	962	1,028	6.8%	52	66	25.6%	5.4%	6.4%
	松屋フーズHD	26/3	985	(8.0%)	1,542	1,845	19.6%	44	76	72.3%	2.9%	4.1%
持ち帰り・回転寿司	FOOD & LIFE COMPANIES	26/9 (2Q)	12,355	84.2%	3,890	4,799	23.4%	306	446	45.8%	7.9%	9.3%
	くら寿司	26/10 (1Q)	1,305	3.0%	2,374	2,495	5.1%	53	56	6.9%	2.2%	2.3%
	カップ・クリエイト	26/3	706	(3.0%)	732	732	(0.0%)	14	5	(62.9%)	2.0%	0.7%
	Genki Global Dining Concepts	26/3	494	(28.6%)	675	737	9.2%	68	48	(29.4%)	10.1%	6.5%
カジュアルレストラン	すかいらーくHD	26/12 (1Q)	6,389	(13.3%)	4,172	4,674	12.0%	257	312	21.5%	6.2%	6.7%
	クリエイト・レストランツ・HD	26/2	2,972	1.2%	1,564	1,654	5.8%	85	79	(6.6%)	5.4%	4.8%
	サイゼリヤ	26/8 (2Q)	2,623	6.6%	2,415	2,780	15.1%	151	180	18.9%	6.3%	6.5%
	ロイヤルHD	26/12 (1Q)	1,265	1.1%	1,549	1,677	8.3%	72	77	6.4%	4.6%	4.6%
焼肉	物語コーポレーション	26/6 (3Q)	1,932	41.1%	1,191	1,434	20.4%	82	114	38.9%	6.9%	8.0%
	アトム	26/3	1,296	2.8%	355	304	(14.3%)	(7)	0	(103.7%)	(1.9%)	0.1%
定食・そば・うどん	トリドールHD	26/3	3,326	(8.8%)	2,682	2,787	3.9%	87	106	22.0%	3.2%	3.8%
	フジオフードグループ本社	26/12 (1Q)	584	(7.9%)	314	321	2.2%	11	6	(45.3%)	3.7%	2.0%
	大戸屋HD	26/3	562	47.0%	314	370	17.9%	17	21	28.8%	5.3%	5.8%
	サガミHD	26/3	504	(2.2%)	350	394	12.3%	21	30	44.6%	5.9%	7.6%

Source: Capital IQ、SPEEDA、各社Website、各社公表資料

(1) 2025/5/29時点の時価総額との比較

(2) 直近値は直近TLM、前年値はその直前12か月間の累計値を記載

外食セクター | 各社の業績 (2/2)

カフェ・中華/ラーメン・居酒屋は増収増益企業が多い一方、時価総額は下落企業が目立つ。業績改善は一定程度織り込まれていた可能性があり、今後の成長持続性やコスト上昇への警戒から株価評価は伸び悩み

各社の時価総額・売上高・営業利益

(億円)

	社名	直近決算期	時価総額		売上高 ⁽²⁾			営業利益 ⁽²⁾			営業利益率	
			2026/5/29	成長率 ⁽¹⁾	前年	直近	前年	前年	直近	前年	直近	
							vs直近			vs直近		
カフェ	コメダHD	26/2	1,285	(0.6%)	471	572	21.6%	88	94	6.8%	18.7%	16.5%
	ドトール・日レスHD	26/2	1,119	(2.0%)	1,488	1,591	6.9%	96	102	5.8%	6.4%	6.4%
中華・ラーメン	王将フードサービス	26/3	1,417	(21.2%)	1,110	1,168	5.2%	109	104	(4.5%)	9.8%	8.9%
	ハイデイ日高	26/2	955	(16.9%)	556	623	11.9%	55	66	19.4%	9.9%	10.6%
	ギフトHD	26/10 (1Q)	827	15.8%	302	380	26.0%	28	40	45.1%	9.2%	10.6%
	丸千代山岡家	26/1	624	22.8%	346	430	24.3%	37	47	26.2%	10.7%	10.9%
	リンガーハット	26/2	544	(6.5%)	438	451	2.9%	17	14	(16.3%)	3.9%	3.1%
	力の源HD	26/3	447	12.2%	342	363	6.1%	28	23	(17.3%)	8.2%	6.4%
	居酒屋	コロナイド	26/3	1,903	(1.2%)	2,692	3,001	11.5%	77	94	22.0%	2.9%
	ワタミ	26/3	372	(8.0%)	887	933	5.1%	46	48	5.9%	5.1%	5.2%
	ヨシックスHD	26/3	329	24.3%	229	259	13.1%	23	30	28.6%	10.2%	11.6%
	エターナルホスピタリティグループ	26/7 (2Q)	325	(3.6%)	441	496	12.5%	29	34	17.5%	6.6%	6.9%
テイクアウト・中食	ロック・フィールド	26/4 (3Q)	324	(18.2%)	516	510	(1.2%)	15	6	(62.6%)	2.9%	1.1%
	ハークスレイ	26/3	120	6.2%	452	524	16.1%	19	31	58.3%	4.3%	5.8%
	ライドオンエクスプレスHD	26/3	96	(2.3%)	234	238	1.9%	8	9	12.5%	3.3%	3.7%
フードデリバリー	出前館	26/8 (2Q)	133	(50.8%)	457	368	(19.5%)	(29)	(68)	137.1%	(6.3%)	(18.6%)

Source: Capital IQ、SPEEDA、各社Website、各社公表資料

(1) 2025/5/29時点の時価総額との比較

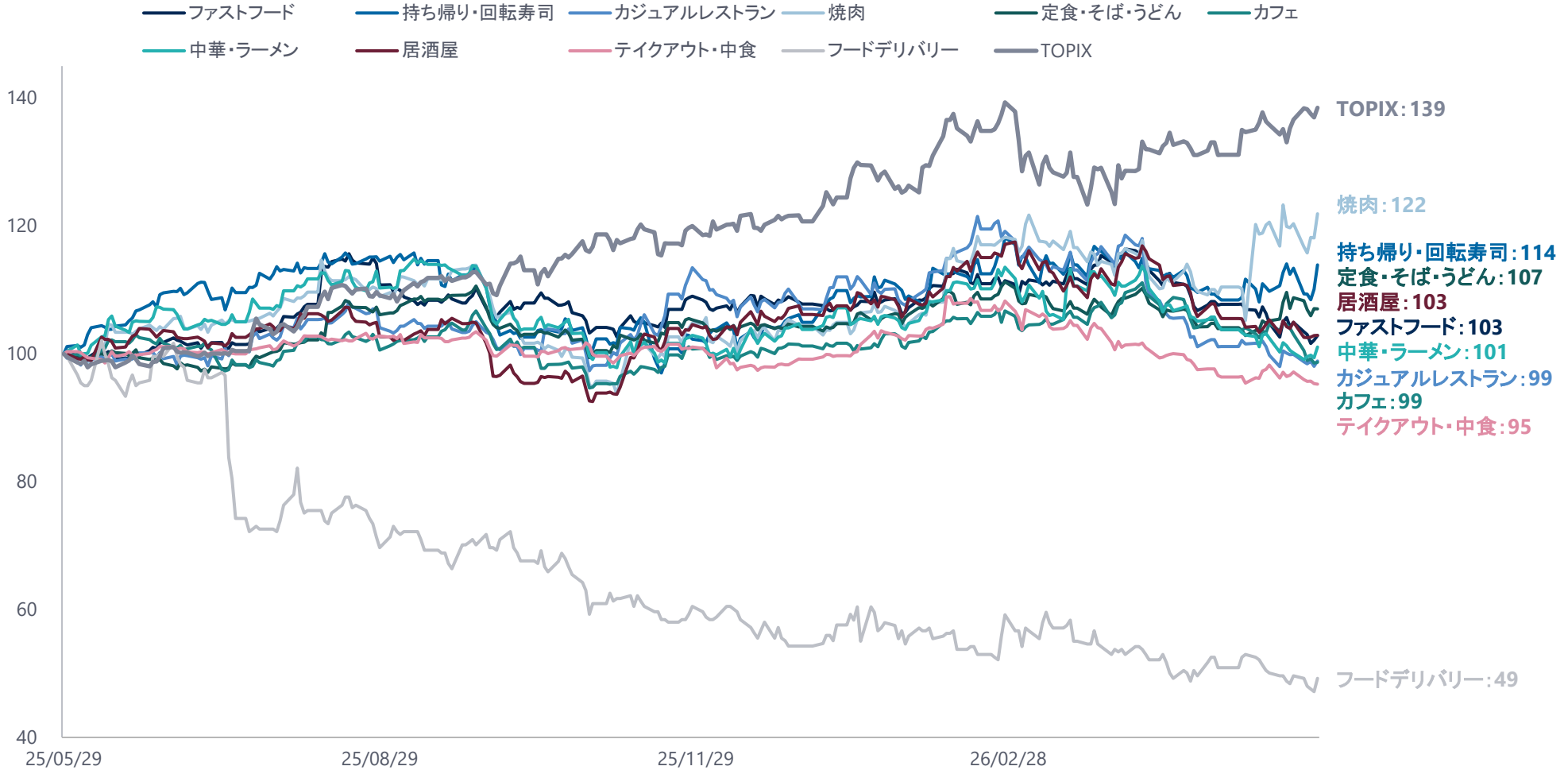
(2) 直近値は直近TMT、前年値はその直前12か月間の累計値を記載

外食セクター | 時価総額推移(直近1年間)

増収増益を達成する企業が多かったものの、利益成長の持続性や人件費上昇への懸念からバリュエーション拡大が限定的となり、株価はTOPIX対比で伸び悩み

業種別時価総額推移

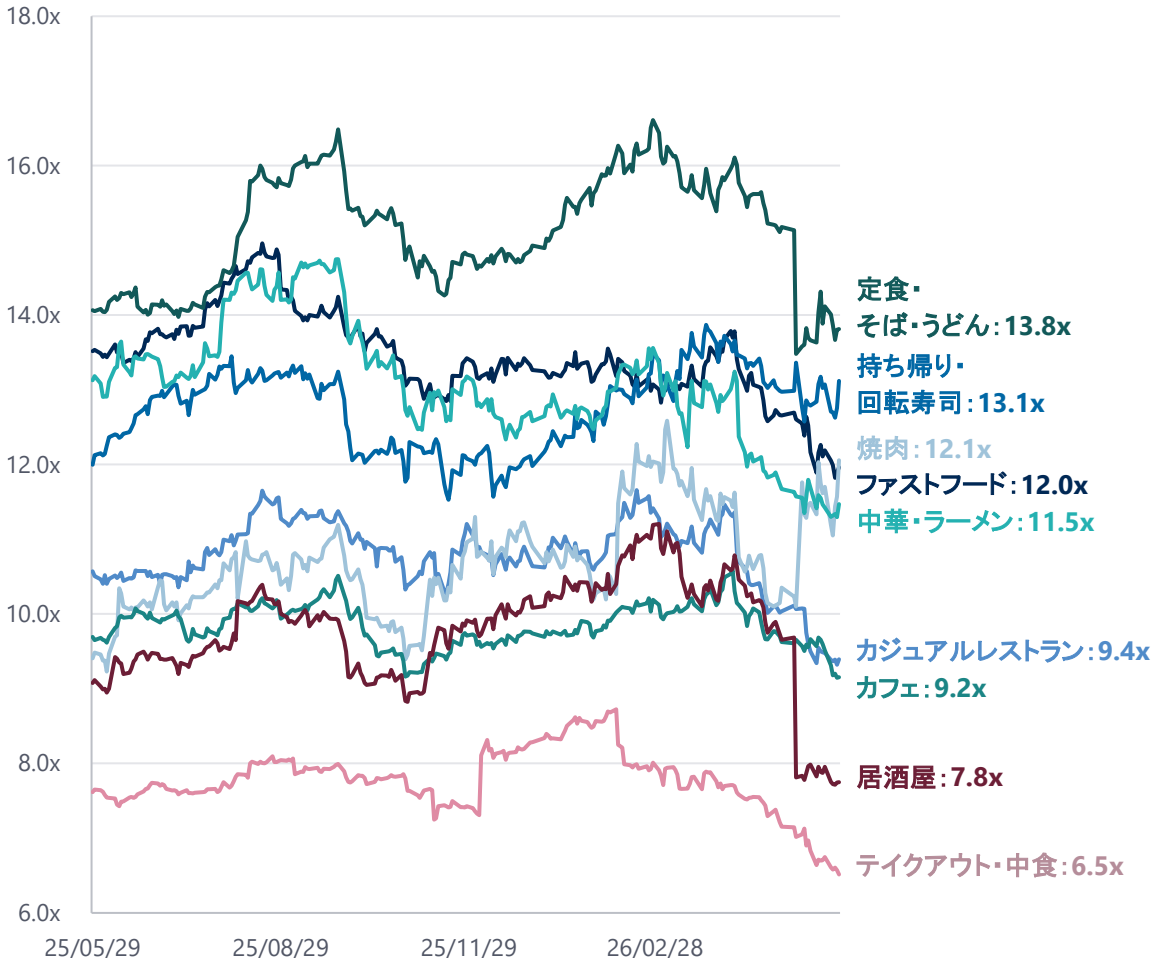
- 2025年5月29日時点の各社時価総額(自己株式控除後)を100として指数化し、各業種別に単純平均した推移



外食セクター | バリュエーション推移(直近1年間)

高回転・安定需要を有するファストフード、持ち帰り・回転寿司、定食・そばうどんに加え、成長期待の高い焼肉は相対的に高い評価を維持。一方、居酒屋やテイクアウト・中食は需要変動・コスト上昇の影響を受けやすく、マルチプルは低位で推移

業種別EV/EBITDA⁽¹⁾マルチプル推移



外食業界各社のEV/EBITDA

	EV/EBITDA	平均値/前年比	
ファストフード	ゼンショーHD	10.3x	12.0x (1.6x)
	日本マクドナルドHD	13.4x	
	吉野家HD	13.1x	
	壱番屋	17.9x	
	モスフードサービス	8.9x	
	松屋フーズHD	8.2x	
持ち帰り・回転寿司	FOOD & LIFE COMPANIES	16.0x	13.1x +1.1x
	くら寿司	10.7x	
	カッパ・クリエイト	19.3x	
	Genki Global Dining Concepts	6.5x	
カジュアルレストラン	すかいらーくHD	8.5x	9.4x (1.2x)
	クリエイト・レストランツ・HD	13.7x	
	サイゼリヤ	6.3x	
	ロイヤルHD	9.1x	
焼肉	物語コーポレーション	12.1x	12.1x +2.7x
	アトム	NM	
定食・そば・うどん	トリドールHD	9.1x	13.8x (0.3x)
	フジオフードグループ本社	NM	
	大戸屋HD	13.5x	
	サガミHD	18.8x	
カフェ	コメダHD	12.9x	9.2x (0.5x)
	ドトール・日レスHD	5.4x	
中華・ラーメン	王将フードサービス	8.5x	11.5x (1.7x)
	ハイデイ日高	10.0x	
	ギフトHD	15.4x	
	丸千代山岡家	9.9x	
	リンガーハット	14.0x	
	カの源HD	11.0x	
居酒屋	コロナイド	11.6x	7.8x (1.3x)
	ワタミ	NM	
	ヨシックスHD	5.9x	
	エターナルホスピタリティグループ	5.7x	
テイクアウト・中食	ロック・フィールド	9.1x	6.5x (1.1x)
	ハークスレイ	6.3x	
	ライドオンエクスプレスHD	4.1x	
フードデリバリー	出前館	NM	NM

Source: Capital IQ, SPEEDA, 各社Website, 各社公表資料

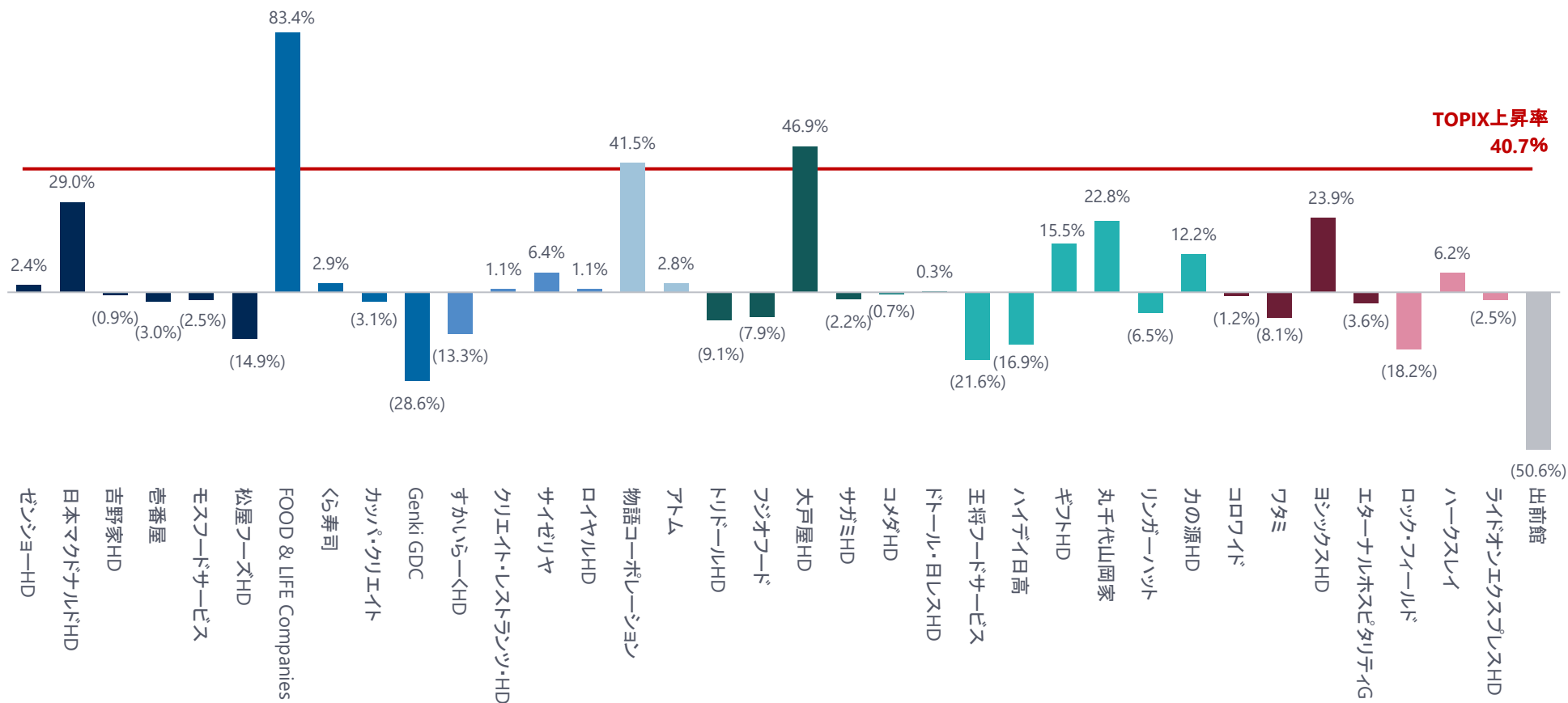
(1) 各時点の会社予想に基づくマルチプルを採用 (ライドオンエクスプレスHDのみ一部コンセンサス予想EBITDAに基づき算出。EV/EBITDA マルチプルが0.0x未満、もしくは30.0xより大きい場合がある企業は平均の計算より除外)

外食セクター | 主要各社の株価騰落率

株価騰落率は同一業態内でもばらつきが大きく、業態全体よりも個社ごとの業績成長・回復期待が評価を左右。FOOD & LIFE COMPANIES、大戸屋HD、物語コーポレーション等が大きく上昇する一方、出前館や一部チェーンでは株価下落が目立つ

各社株価騰落率

- 各社の2025年5月29日終値に対する、2026年5月29日終値の騰落率をプロット



大手上場外食企業の時価総額の変動(対2025年5月末比、2026年5月末時点)

外食各社の株価はTOPIXを下回る企業が多く、相場全体に対して伸び悩み。株価上昇はFOOD & LIFE COMPANIES、大戸屋HD、物語コーポレーション等の一部銘柄に集中し、成長期待・業績回復への評価が個別に分かれる



2025年度の外食業界における主要トレンド

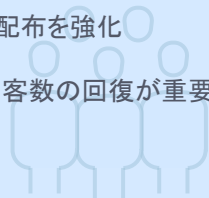
2025年度の外食業界は、コスト上昇・人手不足への対応が進む中、インバウンド需要の取り込みとM&Aが活性化



値上げ効果一巡、客数重視へ

値上げによる成長が一巡し、売上拡大の重点が客単価から客数へ移行。各社は来店頻度向上や顧客獲得施策を強化

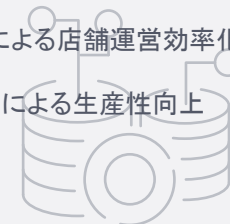
- 値上げ継続による消費者の節約志向が顕在化
- アプリ会員施策やクーポン配布を強化
- 既存店売上高よりも既存店客数の回復が重要テーマに



人手不足対応でDX投資加速

人手不足や賃金上昇を背景に、省人化・効率化に向けたDX投資が加速。生産性向上が重要な経営課題に

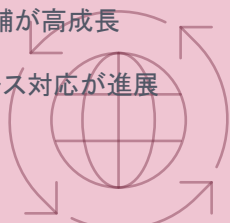
- モバイルオーダーやセルフレジの導入拡大
- 配膳ロボットやAI活用による店舗運営効率化
- セントラルキッチン活用による生産性向上



インバウンド需要が成長を牽引

訪日外国人の増加を背景に外食需要が拡大。都市部や観光地を中心に業績を押し上げる要因に

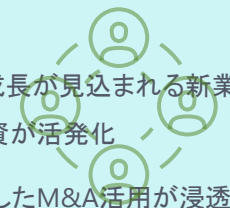
- 寿司、焼肉、ラーメンなど和食業態が恩恵
- 都市部・観光地立地の店舗が高成長
- 多言語対応やキャッシュレス対応が進展



M&A・資本再編が活発化

PEファンドによる投資・Exit案件が継続する中、成長ブランド獲得や企業価値向上を目的としたM&Aが活発化

- PEファンドによる外食ブランドへの投資が活性化
- ラーメン業態を中心に成長が見込まれる新業態獲得を目的とした投資が活発化
- 企業価値向上を目的としたM&A活用が浸透



外食セクターにおける主要M&A(2025年4月以降) (1/3)

PEファンド主導の投資・Exit案件が活性化中、円安対応力と海外成長性が見込まれるラーメンなどをはじめとする新業態獲得や事業ポートフォリオ見直しを目的としたM&Aが活発化

(百万円)

#	公表日	買い手	対象会社	売り手	対象会社概要	取得比率	取得価格	EV	取得価格/EBITDA	EV/EBITDA	売上高	EBITDA
1	2025/4/14	 create restaurants inc. クリエイト・レストランツHD	 狼煙 狼煙	中村幸司 代表取締役ら2人 (狼煙)	・ 濃厚つけ麺で高い評価を得る人気ラーメンブランド	100.0%	na	na	na	na	333	na
2	2025/5/12	 あみやき亭	 CUDOTION Company クーデションカンパニー	個人1人	・ 関西エリアにて、焼肉、ラーメンおよびステーキ業態の店舗を直営21店舗、FC2店舗、直売所1店舗展開	100.0%	1,450	na	na	na	2,726	na
3	2025/5/13	 株式会社 コロワイド コロワイド	 SEAGRASS BOUTIQUE HOSPITALITY GROUP シーグラス	Crescent VI、 Star tulip等	・ プレミアムステーキハウスをオーストラリアにおいて17店舗、UAEにおいて2店舗を展開する、オセアニア地域No.1のステーキレストランチェーン	100.0%	20,041	na	16.5x	na	16,132	1,236
4	2025/6/3	 京都発祥の ラーメン 魁力屋 魁力屋	 Grand Cuisine グランキューイジーヌ	個人	・ 「肉そばけいすけ」、「札幌みその一期一会」等のブランドを中心に、直営店19店舗を展開	100.0%	971	na	na	na	1,623	na
5	2025/7/1	 KEY COFFEE キーコーヒー	 イノダコーヒ イノダコーヒ	 ant capital partners アント・キャピタル	・ コーヒー豆の製造・販売のほか、京都市を中心に喫茶店などを9店舗運営している ・ アント・キャピタルが2022年に投資	94.2%	na	na	na	na	2,138	na
6	2025/7/15	 POLARIS ボラリス・キャピタル	 DD GROUP DDグループ	松村厚久社長 (DDグループ)	・ 「わらやき屋」「美食米門」「BAGUS」など、居酒屋・ダイニング・アミューズメントを含む多数のブランドを展開	100.0%	30,796	39,997	6.7x	6.68x	38,578	4,610
7	2025/9/16	 SRS HOLDINGS SRS HD	 札幌 Sushi Benkei すし弁慶	山本美沙緒社長 (すし弁慶)	・ グルメ回転寿司業態「すし弁慶」、「回転すし北海道」を鳥取県、島根県に6店舗展開	100.0%	1,176	na	na	na	1,873	na

外食セクターにおける主要M&A(2025年4月以降) (2/3)

PEファンド主導の投資・Exit案件が活性化中、円安対応力と海外成長性が見込まれるラーメンなどをはじめとする新業態獲得や事業ポートフォリオ見直しを目的としたM&Aが活発化

(百万円)

#	公表日	買い手	対象会社	売り手	対象会社概要	取得比率	取得価格	EV	取得価格/EBITDA	EV/EBITDA	売上高	EBITDA
8	2025/9/17	 串カツ田中HD	 PISOLA FRESH & RESTAURANT	廣瀬周栄代表取締役 鬼界友則代表取締役 (ピソラ)	関西エリアを中心に、直営店47店舗、FC11店舗のイタリアンレストランチェーンを運営	100.0%	9,500	na	na	na	7,223	na
9	2025/9/22	MCP Capital MCPキャピタル	SASAYA Holdings SASAYA HD	 YUKON 雄渾キャピタル	<ul style="list-style-type: none"> 大阪を中心に東京・福井で焼肉、焼鳥、大衆酒場、定食屋等の飲食店を運営 雄渾キャピタルが2020年に投資 	na	na	na	na	na	5,000	na
10	2025/11/14	 魅力屋	 MP KITCHEN エムピーキッチンHD	 ADVANTAGE PARTNERS アドバンテッジパートナーズ	<ul style="list-style-type: none"> 飲食店の総合開発及び運営。主力事業は「三田製麺所」、「渋谷餃子」等 アドバンテッジパートナーズが2016年に投資 	100.0%	5,150	na	na	na	5,746	na
11	2025/11/19	Goldman Sachs ゴールドマン・サックス	 BURGER KING ビーケージャパン HD	AFFINITY EQUITY PARTNERS アフィニティ・エクイティ・パートナーズ	<ul style="list-style-type: none"> 「Burger King」の国内マスターフランチャイジーとしてハンバーガーチェーンを展開 積極的な新規出店で国内店舗網を拡大 アフィニティが2017年に投資 	100.0%	78,500	na	na	na	32,200	na
12	2025/12/15	 MATSUYA FOODS HOLDINGS 松屋フーズHD	 MATSUFUJI 松富士	竹田和重代表取締役、MR投資事業有限責任組合	<ul style="list-style-type: none"> つけ麺ブランド「六厘舎」を中心に、濃厚魚介系ラーメンを強みとする外食企業 首都圏を中心に直営・プロデュース型で多店舗展開 	100.0%	9,160	na	na	na	10,006	na
13	2026/1/14	 create restaurants inc. クリエイト・レストランツHD	 RON ロン	個人2人	<ul style="list-style-type: none"> 大阪・梅田エリアを中心に洋食店「グリルRON」、分厚い豚肉をニンニクの効いた特製ソースで焼き上げた「大阪トンテキ」など10店舗を展開 	100.0%	963	na	na	na	1,235	na
14	2026/2/16	 Genki Global Dining Concepts Genki Global Dining Concepts	 sushi sushi フード・オデッセイ	 Odyssey Private Equity Odyssey Private Equity	<ul style="list-style-type: none"> オーストラリアにおいて「Sushi Sushi」のブランド名で寿司事業を展開し、同国全土で約180店舗を運営 	100.0%	na	na	na	na	9,607	na

外食セクターにおける主要M&A(2025年4月以降) (3/3)

PEファンド主導の投資・Exit案件が活性化中、円安対応力と海外成長性が見込まれるラーメンなどをはじめとする新業態獲得や事業ポートフォリオ見直しを目的としたM&Aが活発化

(百万円)

#	公表日	買い手	対象会社	売り手	対象会社概要	取得比率	取得価格	EV	取得価格/EBITDA	EV/EBITDA	売上高	EBITDA
15	2026/3/11	 株式会社 コロワイド コロワイド	 C-UNITED シーユナイテッド	 THE LONGREACH GROUP ロングリーチグループ	<ul style="list-style-type: none"> 「珈琲館」、「ベローチェ」、「カフェドクリエ」などカフェチェーンを国内で7つ展開 ロングリーチグループが18年と20年に投資した珈琲館事業とシャノアールを経営統合し21年にC-United設立 	100.0%	44,092	na	16.3x	na	35,863	2,706
16	2026/3/19	 ZENSHO ゼンショーHD	 SUSHI&FOODFACTOR スシ&フードファクター	既存株主	<ul style="list-style-type: none"> ポーランドを拠点に寿司等のアジア系食品を製造・卸売 欧州の大手小売チェーンにを顧客に持ち、地域最大級のパック寿司製造工場を運営 	100.0%	na	na	na	na	10,170	na
17	2026/3/24	 Doritosグループ すかいらーくHD	 炭火焼干物定食 しゃんぱち食堂 しゃんぱち	 J-STAR J-STAR	<ul style="list-style-type: none"> 炭火焼干物定食「しゃんぱち食堂」や炭火焼干物食堂「越後屋」等のレストランチェーンを全国で108店舗展開 J-STARが2017年に投資 	100.0%	11,039	na	30.2x	na	6,452	366
18	2026/4/22	 CRÉATION クレアシオン・キャピタル	 KenKo Group ケンコーHD	na	<ul style="list-style-type: none"> 中華・ラーメン業態を中心に、和食、焼肉等の多様な飲食ブランドを展開 	na	na	na	na	na	19,000 ⁽¹⁾	na
19	2026/4/24	 太洋物産株式会社 太洋物産	 ICHIGO HOLDINGS Co.,LTD. いちごHD	 X-mobile エックスモバイルなど	<ul style="list-style-type: none"> 宅配ピザ「ナポリの窯」運営のストロベリーコーンズを傘下に持つ 	100.0%	666	na	na	na	4,638 ⁽²⁾	na

Source: 各種公表資料、MARR

(1) ケンコーホールディングスの売上高は2025年度の直営店売上

(2) いちごHDの売上高はいちごHDおよび同社子会社のストロベリーコーンズの売上高の単純合算

ケーススタディ | コロワイドによるC-Unitedの買収



コロワイドは本取引を通じて、国内有数の事業規模を誇るカフェチェーンを獲得し、単価や利用シーン等の観点から業態ポートフォリオの拡充を実現

本件概要

公表日	2026年3月10日
買収金額	441億円
売手	ロングリーチグループ
対象会社	C-United株式会社
買い手	株式会社コロワイド <ul style="list-style-type: none"> 牛角、甘太郎、かっぱ寿司、ステーキ宮、大戸屋をはじめとする飲食店の経営、各種食料品の仕入販売及び加工販売など

対象会社の概要

事業概要	「珈琲館」・「カフェ・ベローチェ」・「カフェド・クリエ」の3業態を中心に、カフェチェーンの経営、物販事業及び食材卸売事業を展開
店舗数	563店舗(直営・FC、2026年2月末現在)
財務情報	売上高: 324億円、EBITDA: 27億円(2025年3月期)
沿革	2018年にUCCフードサービスシステムズから「珈琲館」事業を、また2020年には「カフェ・ベローチェ」を展開するシャノアールの全株式を取得し、両社を経営統合し、2021年4月に新会社C-United設立 さらに2022年にはサッポログループ食品から「カフェド・クリエ」を中心にカフェチェーンを展開していたポッカクリエイトの株式を取得

フルサービス

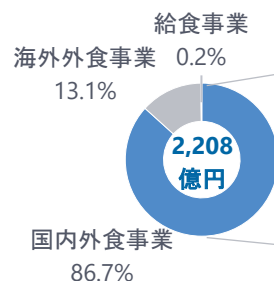
セルフサービス

------	------------------

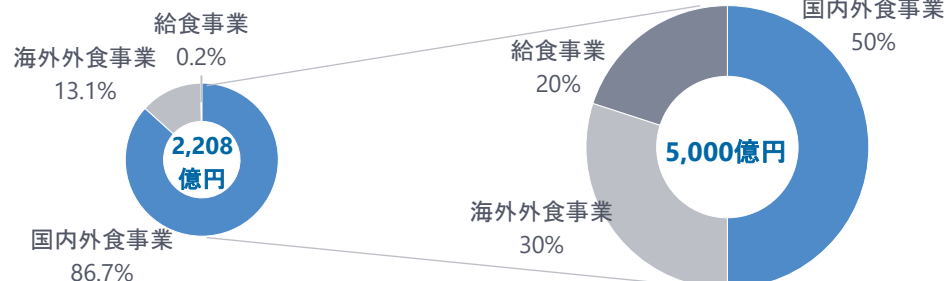
本件の戦略的意義

- 中期経営計画「COLOWIDE Vision 2030」において、コロワイドグループの主力事業領域である国内外食事業ではM&Aによる国内外食市場におけるシェアアップと収益性の向上を通じて、2030年3月期に連結売上収益5,000億円の達成を目標として設定しており、本取引は当該戦略を具体化するもの

2023年3月期 売上収益割合



2030年3月期 売上収益割合



買収戦略

戦略的意義

- ホワイトスペースへの参入による事業ポートフォリオの多角化**
 - 居酒屋やレストラン業態ではカバーしきれなかった顧客層の獲得
 - 客層や客単価の異なるカフェ・プラットフォームを一挙に取り込み、消費者嗜好の多様化に強い収益基盤を構築
- グループ商材のクロスセルによるトップライン・シナジーの拡大**
 - コロワイドグループが展開する「Cheese Garden」等の高品質なスイーツ・ベーカリー商材を、C-Unitedの広範なカフェ店舗網を通じて提供・販売
- FC開拓・出店の強化**
 - 立地情報の共有化による新規出店のスピードと精度の向上
 - コロワイドグループの既存FC企業とは異なるカフェ業態が連携することによるFC開拓・出店の強化
- 生産調達等スケールメリット**
 - 両社の食材・飲料・包材等の共同調達に伴う仕入価格の低減
 - グループ全体での物流ネットワークの共通化や、セントラルキッチン相互活用等を通じ、販管費・物流費の削減

ケーススタディ | すかいらーくホールディングスによるしんぱちの買収

すかいらーくは本取引を通じて、資さんの買収に続き空白地帯であった日常使いの低価格業態のポートフォリオ強化を実現

本件概要

公表日	2026年3月24日
買収金額	110億円
売手	J STAR株式会社
対象会社	株式会社しんぱち
買い手	株式会社すかいらーくホールディングス(すかいらーく) <ul style="list-style-type: none"> ・ガスト、バーミヤン、ジョナサン、しゃぶ葉など、和洋中をはじめとした各種テーブルレストランを中核事業に、現在、約3,000店舗を国内外に展開

対象会社の概要

事業概要	炭火焼の干物を中心とした伝統的な日常食を高品質かつリーズナブルに提供する「しんぱち食堂」などを運営
店舗数	108店舗(直営・FC、2026年2月末現在) <ul style="list-style-type: none"> ・炭火焼干物定食「しんぱち食堂」66店(関東47店舗、関西14店舗、その他愛知県、福岡県に出店) ・炭火焼めし処「しんぱち食堂」18店 ・炭火焼干物食堂「越後屋」15店 ・大和屋「半蔵」「音次郎」各1店、その他7店
財務情報	売上高: 64.5億円、EBITDA: 3.7億円(2025年10月期)



本件の戦略的意義

1 ブランドポートフォリオの拡充

- ・すかいらーくは中価格帯のテーブルサービスレストランを中心に展開。ファミリーダイニング業態においては、原材料価格の高騰に合わせ客単価をやや高める戦略を推進する中、空白地帯が生まれていた日常使いの低価格業態のブランドポートフォリオ強化を実現
- ・「資さん」の買収も同様に、低価格帯ポートフォリオ強化の一環



2 ストアポートフォリオの最適化とドミナント戦略の加速

- ・すかいらーくの店舗は、現状約7割がロードサイドに位置しており、将来の人口動態を見据え「都心・駅前・市街地」への出店強化を推進
- ・一方しんぱちは、都心部の狭小立地において高い坪効率と収益性を両立する独自のビジネスモデルを確立しており本取引により、すかいらーくが推進する都市型出店戦略を加速させ、立地リスクの分散と収益構造を最適化

3 グループシナジーの創出

- ・しんぱちの主力商品である干物は、他社の追随を許さない高いクオリティと競争力を備えて、その源泉となる開発ノウハウおよび調理技術の獲得に伴い、グループの商品力底上げ
- ・「都市型立地の開発力」「店舗デザイン力(空間設計)」「高度に最適化されたDXソリューション」といったすかいらーく独自の強みのグループ共同活用

留意事項

本プレゼンテーションは、フーリハン・ローキー株式会社（以下「フーリハン・ローキー」又は「弊社」という。）が貴社（以下「貴社」又は「受領者」という。）の為に、貴社内部限りの利用を前提として作成したものです。本プレゼンテーションは、貴社により今後実行される可能性のある一つ又は複数の取引について予備的な評価をする際の補助とすることを目的として作成されたものであり、本プレゼンテーションの内容の一部又は全部を公表する権利、また、いかなる第三者に対しても開示する権利も受領者に付与するものではありません。本プレゼンテーションは、貴社と協議する際の資料としての使用の為にのみ作成されたもので、弊社による口頭説明によって補完され、かつ、その説明との関連においてのみ考察されるべきものです。弊社の事前の書面による同意なしに、本プレゼンテーション及びその内容を他のいかなる目的にも使用することはできません。

弊社は、公共の情報源から入手した情報、その他弊社が独自に入手・検討した情報が、全て正確かつ完全であることを前提とし作成されたものであり、当該情報は、受領者が本取引を進めるか否かを評価するために必要とする可能性のあるすべての情報を含むとは限りません。フーリハン・ローキーならびにその役員、取締役、従業員、代理人および関係者は、本プレゼンテーションに含まれる情報（将来の予測、事業の推測、見込みまたは利益に関する成果または合理性を含む。）または受領者もしくはそのアドバイザーに対して書面もしくは口頭で提供されるその他一切の情報の正確性、完全性、クオリティ、妥当性または適切性に関し、現在または将来において、明示的にも黙示的にも表明または保証を行わず、義務または責任を負わず、かつ、それらの一切の責任は明示的に免責されます。本プレゼンテーションに含まれる一切の情報に関し、フーリハン・ローキーは独自の検証を行っていません。

本プレゼンテーションの内容は、法律、税務、規制、会計または投資に関する助言または勧告として解釈してはならないものとします。いかなる受領者も、本取引に関する法的事項その他の関連事項に関し、独自のカウンセラー、税務アドバイザーおよび財務アドバイザーと相談すべきです。本プレゼンテーションは、すべての情報を網羅することを意図しておらず、また、貴社が必要とする可能性のあるすべての情報を含むことを意図していません。



Houlihan
Lokey

フリーハン・ローキー株式会社
〒106-0041 東京都港区麻布台1-3-1
麻布台ヒルズ森JPタワー49階
+81 3 6212 7100

CORPORATE FINANCE
FINANCIAL RESTRUCTURING
FINANCIAL AND VALUATION ADVISORY

HL.com